

## 会員制情報誌「たのし」へ西田幾多郎のことを掲載

氏名：西島 幸夫 職業：経営コンサルタント（ISO取得支援） 都道府県：東京都

会員制情報誌「たのし」3月号に西田幾多郎のことを書きました。

西田のことを書きながら感じたことは、明治の金沢で、鈴木大拙と西田幾多郎という二人の偉大な哲学者・宗教家を輩出し、多くの文学者を育んだその文化的風土の高さに驚きます。彼らを育んだその土壌とは何かを考えます。

個人ベースでは、文章をメールで配信したり、名刺と共に手交して発信に努めています。

掲載された記事はコチラです。



[西田幾太郎記念哲学館を訪ねて.pdf](#)  



# 西田幾多郎記念哲学館を訪ねて

## （西田哲学のミュージアム）

いしかわ観光特使 西島 幸夫

ふるさと宇野<sup>うの</sup>を訪ねる

西田哲学で有名な「西田幾多郎記念哲学館」を訪ねた。金沢駅からJR七尾線に乗って



西田幾多郎記念哲学館の全景

宇野<sup>うの</sup>まで25分、金沢から20kmの距離にある。宇野<sup>うの</sup>は河北平野の穀倉地帯、河北潟の北に位置する日本海沿いの内灘砂丘の町だ。平成14（2002）年6月、西田生誕の地に開館した。氏の業績や遺品を紹介しながら哲学を身近に感じ、わかりやすく学んでもらう「哲学ミュージアム」だ。設計は安藤忠雄、丘

陵地にそびえるように建っている。「思索の道」を歩いて広く長い階段庭園を上って行くといり口に辿りつく。ガラス張りの館内は明るく、著作、言葉、原稿、写真などが展覧されている。空の庭などの思索の空間や哲学ホール、図書室など研修施設も併設されている。展望ラウンジから白山連邦のパノラマを一望した。ミュージアムのコンセプトは、「心のオアシス」だという。日常の瑣事を忘れて、哲学的な思索にふけるひと時を過ごすことができた。



思索の道

### 強靱な思索力で西田哲学築く

幾多郎は明治3（1870）年5月に加賀国河北郡森村で生まれた。海に沈む夕日が美しい砂浜の松林で遊ぶのが好きだったという。読書が3度のご飯より好んで、幼少より「十八史略」

など漢籍に親しんだ。西田の歩んだ道は平たんではなく、学業においても卒業後の就職でも苦勞したらしい。公私にわたる苦難を乗り越えるためであったのだろうか、禪に関心を示し、金沢の卯辰山歸厚坂の洗心庵に通い、雪門玄松禪師に師事し坐禪を授けられた。「寸心」という居士号を授けられた。

禪は音楽なり  
禪は美術なり  
禪は運動なり

（哲学館のパネルから）

西田は鈴木大拙とともに石川県専門学校、第四高等学校で学んだ。二人は若くして禅の道を歩みつつ東洋の精神的伝統を体現して終生の友となった。明治27年、東京帝国大学哲学科選科を修了。その後、曲折を経て第四高等学校の教授として金沢に赴任した。講義をする時は決まって頭をすくし傾け目を閉じて、一語一語、言葉を選ぶように話をした。学生たちは「デンケン先生」というあだ名をつけた。デンケンはドイツ語で「深く考える」の意味で、学生たち

は講義を待ちわびたという。明治44年「善の研究」を出版しベストセラーになった。この書は多くの人に読まれ、岩波文庫では夏目漱石の「坊っちゃん」や「こころ」にほぼ近い部数が出版され、西田哲学の名を高めた。京都大学で18年間教鞭を取り、退官後は鎌倉に移り住み昭和20年6月、75歳で逝去した。

### 人生の苦難と喜びを詠む短歌

幾多郎は人生の苦難とその心境を随所で歌に詠んでいる。「人生には唯、短詩の形式によってのみ掴みうる人生の意義というものがある」（随筆「短歌について」と語り、二百首ほどの歌を残している。

かにかくに 思ひし事の  
眺たえて 唯春の日ぞ  
親まれる

家族の死など自らの悲しい出来事乗り越えるために、西田は学問に力注いだ。そして悲哀と向きあい、悲しい出来事を慈しむような歌を詠んだ。

人は人 吾は吾なり  
吾は行くなり 吾が行く道を  
吾が道を行くなりと詠むが、決して独善的にならず多くの書を読み、多くの思想家と対話を続けた。常に自らの不足を誠実に反省し、その思索を深め続けた。

ただひたすらに一つのことを、その根底までさかのぼって考え続けようとする真摯な態度。そこに西田哲学の魅力があるといわれる。

七里浜 夕日漂う 波の上に  
伊豆の山々 果し知らずも  
鎌倉の晩年は簡単な着物を着て禅僧のようだった。朝夕の散歩を日課として七里ヶ浜の海を見ていたという。

われ死なば 故里の山に  
うずもれて むかし語りし  
友を夢みし

晩年に詠んだ歌に望郷の念が溢れている。北鎌倉東慶寺の若むした墓に眠る。（この項おわり）  
参考文献 藤田正勝「西田幾多郎 生きることと哲学」（岩波新書 2007年3月刊）



哲学館からのパノラマ風景